

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

公表年月：2025年3月
事業所名：I Le 埼玉 ミミ

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。			○	設置基準は満たしておりますが、子どもたちの特性を考慮した際にスペースの不足を感じます。その為、机の配置を変更し個別活動に集中できるスペースを作成したり、戸外活動を定期的に取り入れる等の工夫をしております。
	② 職員の配置数は適切であるか。			○	配置基準を遵守しているものの、利用者の特性や利用人数によっては、配置数に余裕が無いと感じるところがある為、職員の増員を考えております。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。			○	入口はバリアフリーでフラットにしております。トイレ、階段には手すりを設置し、体の不自由な児童も安心して利用できるように配慮をしております。
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○			日々のミーティング及び毎月の療育会議にて、スタッフ全員で業務改善についての話し合いを行っております。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			今回実施したアンケート「保護者によるサービス評価表」を元に、スタッフ全員で支援の振り返りを行って参ります。保護者様からのご意見や評価を受けて、業務の改善に向けた話し合いを行っております。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページにて公表をしております。 (HP:https://www.lankuuno.jp/)
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	今後必要に応じて、法人として導入を検討しております。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			毎月社内研修を実施しております。また、最新の情報を取り入れた研修を行う事で職員の資質の向上に努めております。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	○			保護者面談でのアセスメントを通してご家族の思いやニーズの聞き取りを行った上で、ご利用の様子をお伝えさせて頂いております。療育会議でアセスメント内容を職員間で共有し、児童一人一人のニーズや課題にあわせた計画案を作成させて頂いております。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			次月のプログラムを作成し個別計画に沿っているか、又は児童によって活動内容に偏りがないかの確認を行いながら立案しております。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○			児童が季節を感じられるような工夫や、戸外活動や調理活動等児童に合わせたプログラムを設定することで、適切な支援が提供出来るよう努めております。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる発達支援計画を作成しているか。	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			
適切な支援の提供	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			日々の業務日誌や児童毎の経過記録を作成し、支援の検証や改善に努めております。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			連絡帳や送迎時のやり取りにて情報交換を密に行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っております。毎月ケース会議を実施し、職員全体で全ご利用者の児童支援計画の振り返りを行い、それをもとに定期的なモニタリングを実施しております。
関係機関や保護者との連携	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○			
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者や相談支援員を介しての情報共有を行っております。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	人員の事情により公共施設等への外部交流は出来ておりませんが、今後職員の増員が整えば外部交流も検討して参ります。	

	㉓	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		春日部市内の放課後等デイサービス関係者が集まる集会等に参加し、情報共有や連携・勉強の機会としております。	
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○			
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○	お子様と一緒に参加できるイベント等ご要望があれば今後検討して参ります。	
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	SNS等は使い方が難しいという保護者からのご意見を頂戴し、今後はSNSではない形での発信を考えております。日々の活動やイベントの様子をお子様ごとにお写真におまとめし、お知らせしていこうと思っております。	
	㉛	個人情報に十分注意しているか。	○			
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	地域住民を招待しての行事は開催出来ておりませんが、日々の関わりや活動の中で地域での認知向上に繋がるよう努めて参ります。
非常時等の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。			○	安全対策等に関する取り組みについて、今後は連絡帳や通信、写真等で発信を行い、保護者との共有に努めて参ります。
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年3回の避難訓練を実施しております。また年数回の防災対策会議も行ってありますが、頻度を増やして今後より一層の防災意識の向上を図って参ります。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止委員会を設置し、定期的又は適宜委員会を開催することで虐待防止に努めております。合わせて虐待防止にかかる研修を定期的の実施しております。
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	○			
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			